

小学生のみんな!

今年の自由研究は、「まちを知る」アプリ

ミエル=ダで!!

Mieru

Da

Mieru=Da (ミエル=ダ)とは

地域ごとの人口や商業施設の数、建物の老朽年数等、様々な統計データとGoogle Earthを連動させて、地図上に3Dで分かりやすく表示させることができるアプリ。これにより一目でまちの特徴や課題を把握できる。(OSはWindows10で、Microsoft Excelを搭載したPCやタブレット端末で利用可)

今年の自由研究に、安城市の職員が開発したスゴ技アプリ「**Mieru=Da**」を使ってみませんか。145の自治体や国が参加した「i-都市交流会議2020」(内閣府、国土交通省、国際標準化機構共催)で最高位を受賞したアプリです。自分の住むまちの特徴や課題を3D画像(立体的な表示や色分け表示)にすることができます。



例えばこんなふうに使います!

1 まちの何が知りたい?

まちについての興味や疑問を紙に書き出し、どんなデータを集めるかを決めましょう。

パパ、私のまちってどこにたくさん人が住んでるのかな?お店はどこに集まっているのかな?

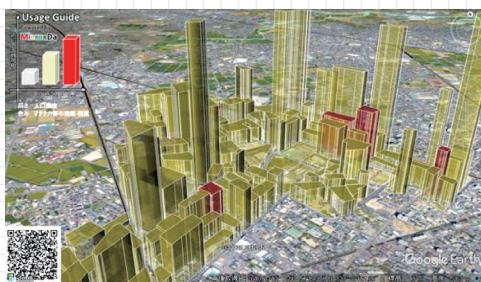


あ!うどん屋さんだ!



2 まずは自分のまちをミエル=ダで見よう!

ミエル=ダ内に入っているまちの様々なデータから、「人口」「おみせ」等、気になるデータを選んでクリック!一瞬で、3D地図ができ上がるよ!



人口が多い地域は高い棒、お店が多い地域は赤色の棒で表示されました。

3 ミエル=ダの3D地図を印刷して実際にまちを歩いてみよう!

「おいしそうなうどん屋さん」「大きなレストラン」など、気づいたことを書き込んでいこうね。

4 まちがミエル!まちがワカル!

3D地図を拡大印刷して模造紙に貼りつけ、3D地図からわかったことやまちを歩いて気づいたことを書き込めば、自由研究完成!



上級者は、ミエル=ダでデータを加工すれば、もっとマニアックな研究もできるよ

- ・30年後にどれだけ人が住んでいるの?
- ・これから人がふえるの?へるの?どっちだろう。
- ・パパママは、どんな仕事をがんばっているのかな。



アプリ開発者
都市計画課

こうすけ
前田 晃佑

安城市では、**協創**=キョウソウのまちづくり(みんなが**協力**しながら、まちや「まちの使い方」を**創**ることを進めています。キョウソウは、私たちが住むまちを、いっぱい楽しむこと!オープンデータを使って、ゲーム感覚で楽しみながらまちを知る。さあ、ミエル=ダを使って、あなたもキョウソウを始めよう!

こんなことも?自治体や企業で活用! ✨

- 活用例
- ・都市計画立案時の現状分析や将来予測
 - ・自動車交通量の混雑状況の可視化
 - ・サービス業の市場ニーズの可視化 等

ミエル=ダのダウンロード、使い方の詳細は

市HP内▶ [協創のまちづくり オープンデータ活用事業](#) [検索](#)

小学生向けガイドブックは

市HP内▶ [こどももミエルダ](#) [検索](#)